

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	MOGAD の長期転帰不良を予測する臨床的背景因子の解析		
1. 研究の目的と方法	抗 MOG 抗体関連疾患（MOGAD）は、一般的に治療への反応性が高く、後遺症は残しにくいとされています。しかしながら、依然として失明、歩行障害、膀胱直腸障害などの後遺症が遷延する不良例が 5～20%程度存在します。本研究では、多機関先行研究（RADDARJ[79]）で取得した個人を識別できないように加工されたデータを先行研究の研究事務局から提供を受け、解析を行い、MOGAD の後遺症の予測因子を明らかにします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2031 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	先行研究「視神経脊髄炎スペクトラム障害レジストリ（NMOSD レジストリ）（神経免疫疾患レジストリ【RADDAR-J[79]】）」（受付番号：37-127(12767)）に同意され、参加された抗 MOG 抗体関連疾患の患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、髄液検査、画像検査）、既往歴や家族歴、治療情報	
	(4) 情報の取得の方法	多機関先行研究（RADDAR-J[79]）で取得されたデータを二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科
		氏名	小松鉄平
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	多機関先行研究（RADDAR-J[79]）に参加している施設から提供された情報を使用します。今回、新たな情報収集は行いません。データは先行研究の研究事務局である一般社団法人 kizuna より個人を識別できないように加工された状態で取得します。情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供された情報は、研究責任者が保管・管理します。 提供方法：パスワード保護された電子ファイルとして、メールにて提供 試料・情報の利用または提供予定開始日：倫理委員会承認後、2026 年 9 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科 研究責任者：講師 小松 鉄平（こまつ てっぺい） 電話番号：03-3433-1111（内線 3282） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。